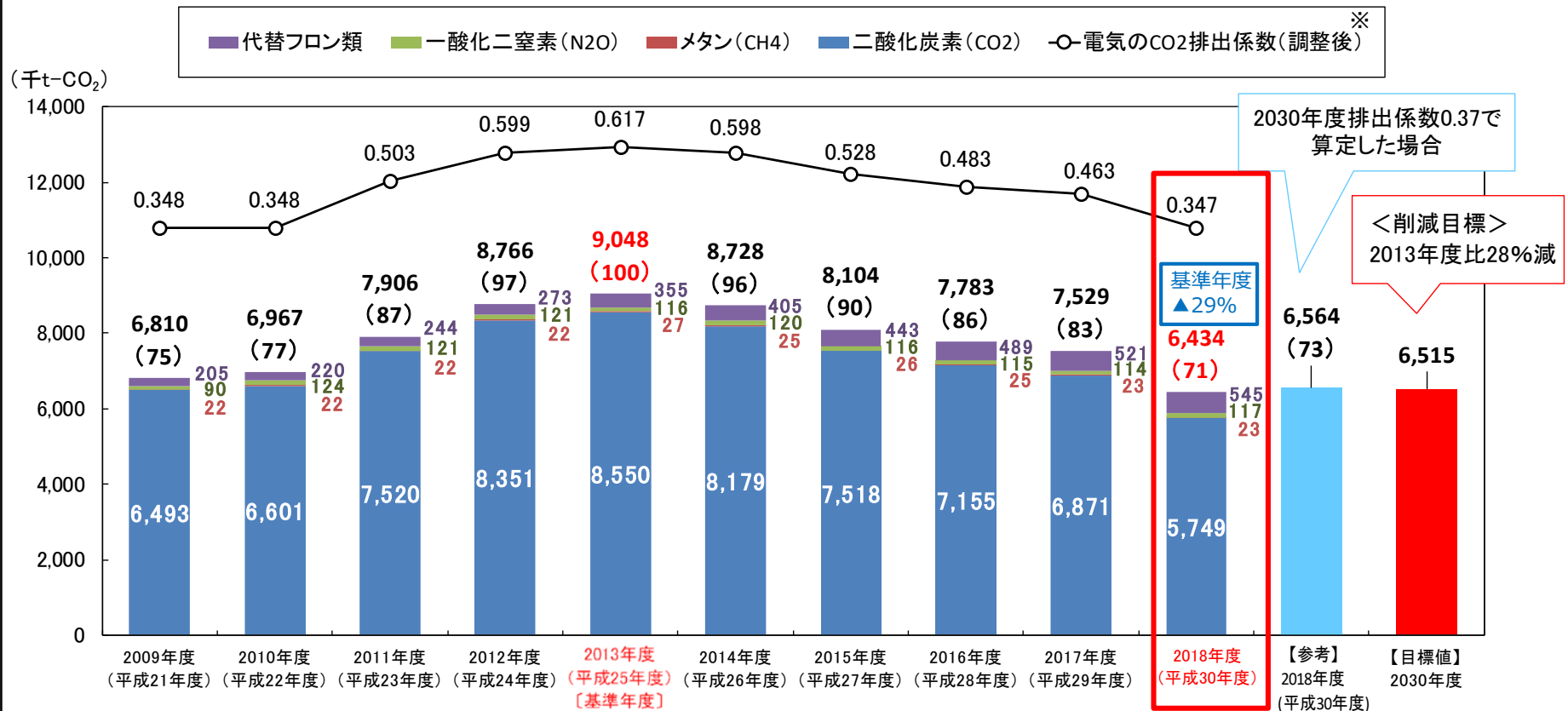


# 福岡市の温室効果ガス排出量

## (1) 温室効果ガス別排出量

福岡市における2018年度の温室効果ガス排出量は6,434千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度（2013年度）と比べて29%（2,614千t-CO<sub>2</sub>）減少



( )内の数値は2013 (平成25) 年度を100としたときの指数

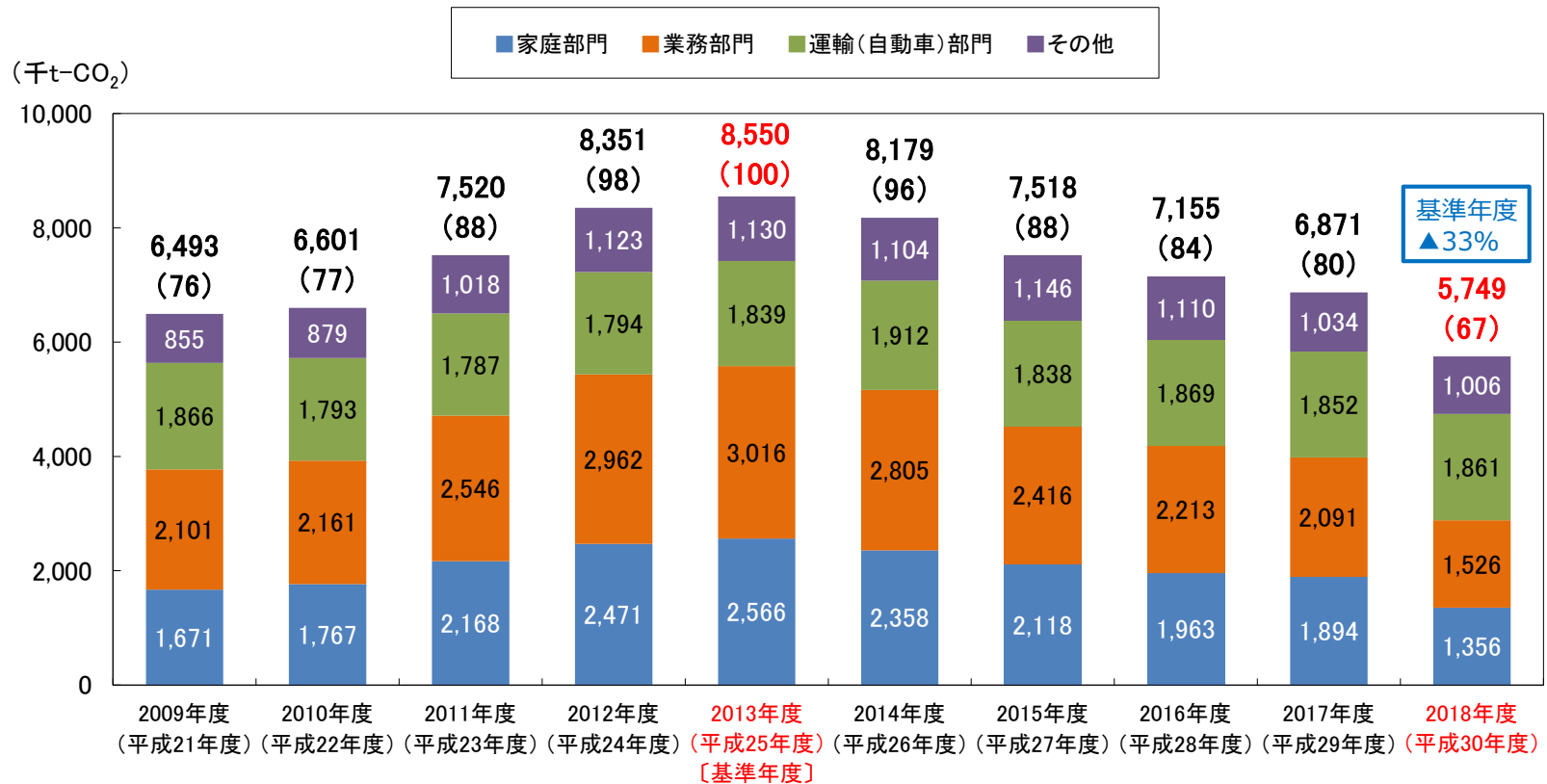
※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が必ずしも一致しない場合がある。

※出典：電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)-環境省・経済産業省公表の九州電力(株)の値

# 福岡市の温室効果ガス排出量

## (2) 二酸化炭素排出量

福岡市における2018年度の二酸化炭素排出量は5,749千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度（2013年度）と比べて33%（2,801千t-CO<sub>2</sub>）減少



( )内の数値は2013（平成25）年度を100としたときの指数

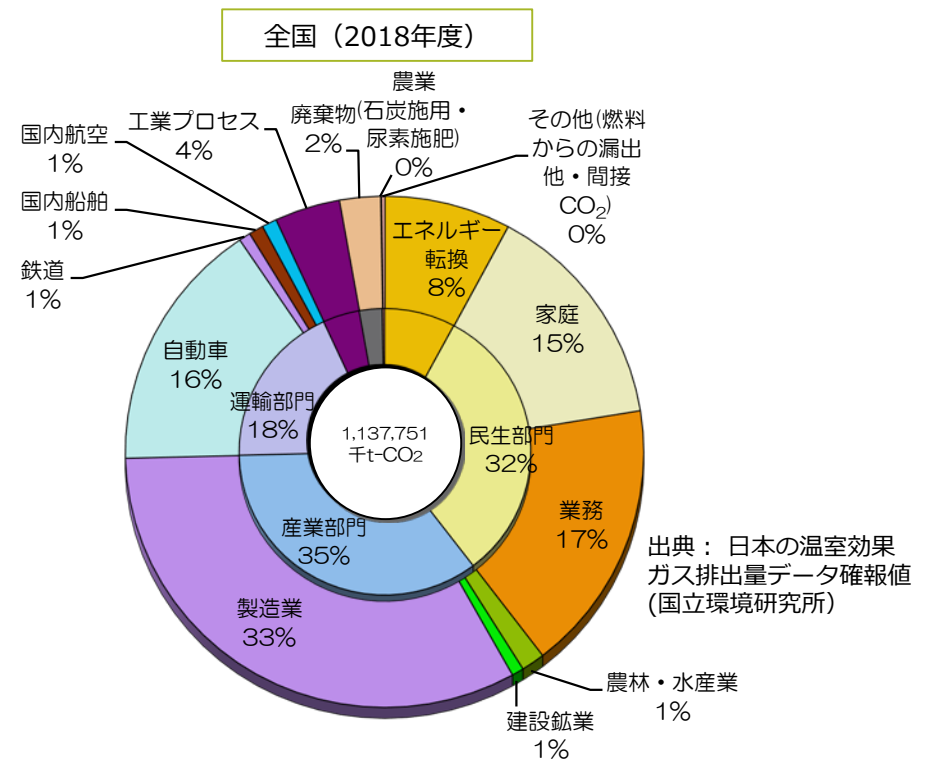
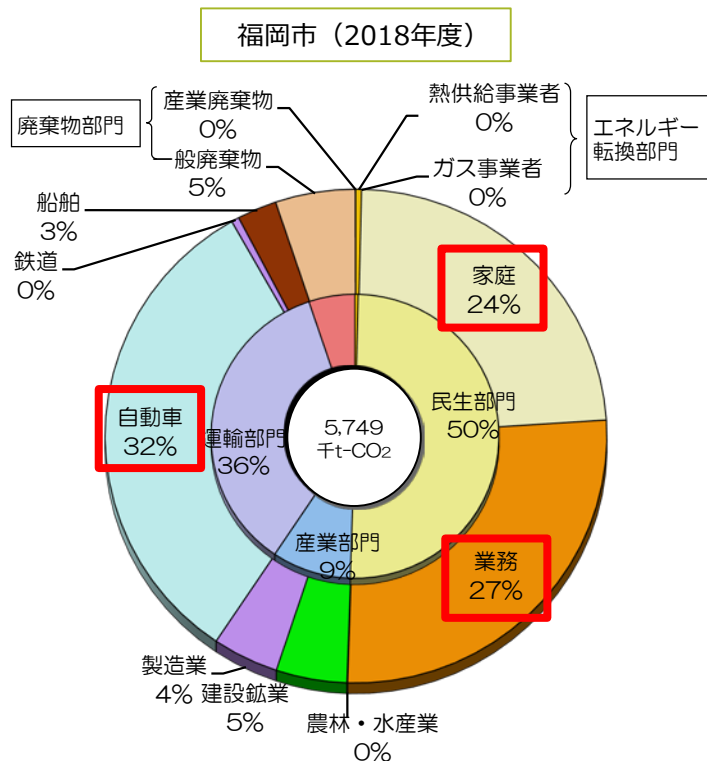
※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が必ずしも一致しない場合がある。

※その他：産業部門（農林水産業，建設鉱業，製造業），運輸部門（鉄道，船舶），エネルギー転換部門（熱供給事業）

# 福岡市の温室効果ガス排出量

## (3) 二酸化炭素排出量の部門別内訳

- ◆2018年度の二酸化炭素排出量を部門別に見ると、自動車部門が32%、業務部門が27%、家庭部門が24%となっており、3部門で83%を占める
- ◆全国に比べて自動車部門、業務部門、家庭部門の割合が大きく、製造業部門の割合が小さい



出典：日本の温室効果ガス排出量データ確報値 (国立環境研究所)

※四捨五入の関係のため、外側の円グラフの割合の合計と内側の円グラフの割合が必ずしも一致しない場合がある。

\*部門別の主な対象

- エネルギー転換：熱供給事業
- 自動車：乗用車、バス、トラック等
- 家庭：一般家庭
- 鉄道：旅客鉄道、貨物鉄道
- 業務：事務所、店舗、学校等
- 船舶：国内船舶
- 製造業：工場等
- 廃棄物：一般廃棄物、産業廃棄物